

情勢報告（令和7年4月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

ユズの有機栽培化に向けて情報提供しました ～令和6年度JA高知県れいほく無農薬柚子部会通常総会～



通常総会の様子

4月2日、大豊町総合ふれあいセンターで令和6年度JA高知県れいほく無農薬柚子部会通常総会が開催され、生産者31人、関係機関職員15人が出席しました。

普及所からは、近年のユズを取り巻く情勢を説明したほか、本年1月に実施された「有機栽培への転換に関する意向調査」の集計結果を報告し、取組に向けた課題を共有しました。

出席者からは無農薬と有機の違いについての質問や、生産者・JA・行政の連携について意見が出されました。

普及所では今後も有機栽培化に向けて生産者・関係機関との協議や技術支援を行っていきます。

水稻苗の安定供給に向けて ～(株)大豊ゆとりファーム水稻育苗事業～



巡回指導の様子

(株)大豊ゆとりファーム（以下、ゆとりファーム）では、水稻育苗事業を展開しており、地域的水稻農家へ苗を供給しています。今年度は約1万枚の苗を生産する計画としており、3月から作業が本格的に始まりました。

普及所は健苗の安定生産およびゆとりファームの育苗事業の収益向上のため、定期的に巡回し、温度・かん水管理や病虫害防除の指導、作業効率向上に向けた提案等を行っています。ゆとりファーム担当者からは「今のところ良い苗ができています。病気を出さないように気をつけたい。」といった声がありました。

普及所は今後も地域的水稻苗の安定供給やゆとりファームの経営改善に向けて支援をしていきます。

高品質花きの生産を目指して ～れいほく花き部会現地検討会～



4月10日、JA高知県れいほく花き部会が現地検討会を開催し、生産者・JA・普及所から計12人が出席しました。

部会員が生産している、トルコギキョウ、ブプレウラム、ユリ、リモニウムのは場を巡回し、生育状況を見ながら栽培管理について活発に意見交換がされました。また、花きでの就農を目指している研修生も参加しており、先輩からのアドバイスに熱心に耳を傾けていました。

普及所からは、かん水管理のポイントや、土壌消毒の方法について助言しました。

今後も普及所は生産者や関係機関と連携して、花き生産の振興に取り組んでいきます。